

学校教育目標：豊かな心を持ち、創造力に富む、心身ともに健康な生徒の育成



～みんなちがって みんないい～ ～人のために役立つ人間になろう～

# 学校だより **ちぐさだい** 第10号

千葉市立千草台中学校 令和8年3月23日発行

## 『 祝 卒業 ～挑戦と創造～ 』

3月10日(火)に創立60周年記念 第60回卒業証書授与式を挙行了しました。朝から、寒さ厳しい中でしたが、来賓の方々を迎え、温かくすばらしい卒業式となりましたこと、心より感謝申し上げます。

「卒業証書授与」では、一人ひとりが担任の呼名に大きな返事で応え、「校歌」「送別の歌(旅立ちの日に)」「卒業の歌(川嶋あいの旅立ちの日に)」、全校合唱「Song is my soul」などの心のこもった魂の歌声が体育館いっぱい響きわたり、感動的な卒業式となりました。創立60周年記念にふさわしい忘れられない時間を過ごすことができとてもうれしいです。

以下、「校長式辞」「送辞」「答辞」の全文を紹介させていただきます。

### 校長式辞

春の光を浴びて草花が芽を出しはじめ、校舎の周りの木々もすっかり春色に染まってきました。早春の良き日に、ご来賓の皆様、並びに保護者の皆様のご列席を賜り、ここに「創立60周年記念、第60回卒業証書授与式」を盛大に挙行できますことを、心からうれしく思います。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今、壇上で一人一人に卒業証書をお渡ししました。胸を張った立派な姿に頼もしさを感じました。

ちょっと、卒業証書を開いてみましょうか。この卒業証書は、中学校の全課程を修了したということだけではなく、同時に、九年間の「義務教育」を終えたことの証明でもあります。卒業証書の最後に記載されている番号はあなただけの番号です。第一回の卒業生からずっとつながっている番号です。今年度で卒業生の数は7714人となりました。今日、あなたは60年の伝統を紡ぐ、一人となりました。「私は千草台中の記念すべき60回目の卒業生だ。」と胸を張って言える人生を歩んでください。

そして、卒業証書には、皆さんの名前とともにこの世界に誕生した日が記されています。私たちは誰も自分が生まれてきたときのことは覚えていません。でも、皆さんの親御さんにとって人生最良の日となった、忘れられない一日です。そして、一生懸命に考えてつけられた名前には願いが込められています。15年前に生まれた命がたくさんのの方々のおかげで、今、たくましく新たな世界へ一歩踏み出す時を迎えているのです。皆さんの成長の証が卒業証書です。大切にしてください。では、閉じておきましょう。

世の中がどんな状況であれ、私たちが祈るのは、将来、皆さんが社会の荒波にもまれながらも「生きていってなかなかいいよね、楽しいよね、わくわくするね」と実感できる時間をたくさんもってほしいと願っています。

さて、卒業生の皆さん、中学校生活はどうでしたか？楽しかったこと、つらかったこと、うれしかったこと、悲しかったこと、きっと一言では言い尽くせない思い出があると思います。特に三年生での最後の一年間は中学校生活の思いが強く込められていたのではないのでしょうか。

中でも合唱コンクールは仲間と心をつなげて、各クラス切磋琢磨しながら、大きな感動を与えてくれました。3年間のすべてを出し切った見事な演奏でした。魅力的な大人の声にずいぶん変わりましたね。結果発表での満面の笑顔と拍手はお互いの頑張りを認め合い、支え合い、学び合い、高め合ってきた証であったと思います。

また、体育祭では、実行委員会が中心となり種目を工夫し、自分たちのやりたかった体育祭を成功させようとコロナ後の新しい時代にふさわしい体育祭を作り上げました。まさに「挑戦と創造」を実践してくれました。

そして、京都・奈良方面への修学旅行。到着直後にバスから見えた鴨川のせせらぎや平安神宮の大きな鳥居を見て歓声が上がったことを覚えていますか。1200年前のはるか昔に建立された東大寺南大門や大仏の迫力。薬師寺でのお坊さんによるお笑いライブのような説法も忘れられません。そして、琵琶湖畔の絶景の見られるすてきなホテルに宿泊しましたね。2日目の夜のレク大会では、抜群のチームワークとその笑いの渦から生まれた一体感に私は感動していました。全員の心が一つになり、学年としてのまとまりや強い絆を感じた瞬間でした。

それでは、いよいよ本校を巣立つ卒業生に、これからの人生を自分らしく、どう切り拓いていくか、私から最後のメッセージを贈ります。

1つめは、「人とつながる力を伸ばすこと」です。もちろん、気が合わない人もいるでしょう。まったく理解できない考え方をする人もいるでしょう。それでも、相手のいいところを探そうという気持ちで関わればつながり方は違ってきます。「絶対無理！」と言ってつながりを遮断することは、「自分が成長するのは絶対無理」と言っているのと同じことです。「人

とつながる力、「共感する力」は自分を伸ばす力でもあるのです。

2つ目は、「失敗を恐れず挑戦すること」です。そもそも失敗とは何か。成功するまでやめなければそれは失敗ではなく成功のための過程にすぎません。自ら判断し、行動すること。社会の変化を見ながら、柔軟性をもって「何度でもチャレンジを続けること」です。「困難に負けない力」、「回復力」、「心のしなやかさ」が必要なのです。…キーワードは、全校集会で何度も話した「挑戦と創造」、「学び合い」「認め合い」「高め合い」「支え合い」の4つの「あい」でしたね。

3つ目は、「どうしてこうなっているのだろうか？」と疑問を持ちながら、自ら「気づく感性」をもってほしいと思います。そこから「探求心」を育み、力強く行動してほしいと願っています。この「探求心」と「行動力」があれば、予測困難な時代を乗り越えて、幸せな未来を創り出すことができると信じています。答えはたとえ出なくても自分と問答してください。相手と何度も対話をしてください。AI が高度な言語処理を担ってくれる時代だからこそ「人間らしい対話」が相手に与える「安心感や共感できる力」が必要なのです。自分の頭で考えて、考えて、考えて結論を出すことです。

さて、本日、卒業生が歌う、「川嶋あい」さんの路上ライブで広がった伝説の歌、「旅立ちの日に」という歌詞には、「思い出の校舎に別れを告げ、今新たな扉開き はるかな年月を経て つぼみから花咲かせよう」とあります。15歳の春、確かに長い人生の中ではつぼみの時期であるかもしれません。みなさんのふるさと千草台で過ごしたこの時間がつぼみを少しずつふくらませてきたのです。しかし、皆さんは、これからの長い道のりの中でこう感じることもあるでしょう。「何が正解なのかわからないと。」そうです。何が正解かは誰にもまからないものが多い世の中なのです。一人では到底答えが見つからない問いへの答えを探すのですから、多様な人たちと協働することが欠かせません。

皆さんのこれからの人生は、「自分だけの正解」を探し続ける旅です。あなたのよさを生かせる道、自分が自分らしくいられる道を、自信をもって歩んでください。一人一人が自分なりの答えを探し出し、あなた色の美しい花を咲かせ、人生を笑顔で楽しんでいる姿を楽しみにしています。

もっともっと伝えたいことがあります、最後に一つ。「感謝する気持ち、相手へのリスペクト」を忘れないでください。今があるのは、自分に関わってきてくれた多くの人の想いがあるからです。節目の今日は「感謝を伝える日」にしてください。さて、誰に伝えますか…

改めまして、保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございませう。立派な姿にさぞかし胸を打たれたと思います。まだまだ、これから成長する生徒たちです。思い悩んでいるとき、立ち止まっているときがあると思います。一人の大人として自立する過程を温かく見守り、支えていただければ幸いです。

結びに、在校生・教職員・保護者、ご来賓の方々と卒業生の「未来」に幸多かれと心より願い、本校創立60周年の輝かしい歴史とこの舞台から巣立っていった多くの卒業生に想いを馳せて、私からお祝いの歌を歌い式辞といたします。「♪かたい絆に思いを寄せて語りつくせぬ青春の日々 時には傷つき 時には喜び 肩をたたき合ったあの日 あれからどれくらいたったのだろう 沈む夕日をいくつ数えただろう ふるさとの友は いまでも 君の心の中にいますか～ 乾杯 今君は人生の大きな 大きな舞台に立ち はるか長い道のりを歩みはじめた千草台中卒業生に幸せあ～あ～れ～♪」  
令和8年3月10日 千葉市立千草台中学校 校長

## 送 辞

校庭の木々にも春の息吹が感じられる頃となりました。創立60周年を祝う横断幕も花の便りにときめく今日、新たな未来へと巣立つ91名の卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございませう。在校生を代表して、お祝い申し上げます。

いよいよお別れのときなのですね。先輩方と過ごした日々を思い出すと共に、月日の流れの早さを感じます。

2年前の春。中学校の新しい生活に緊張していた私達を、先輩方は優しく迎えてくださいました。先輩方の存在は大きく、心強く、その大きな背中にとても安心したことを覚えています。

入学前から憧れていた部活動。先輩方をより身近に感じられたときでした。初めは道具の使い方も分からなかった私達に、先輩方は一つ一つ丁寧に教えてくださいました。少しずつ成長して、チーム・部の一員として充実した日々を送ることができたのも、先輩方のお陰です。

輝く太陽の下で行われた体育祭。障害走や長縄など、熱い応援の聲が飛び交う中、先輩方の体育祭にかける特別な思いは「ヒカリ」、とてもまぶしく映りました。声をかけ合い、競技の一つ一つに真剣に取り組む姿に心打たれました。

爽やかな秋風に乘せて、ホールに素敵な歌声が響いた合唱コンクール。音楽室から響いてくる先輩方の美しい歌声、「あなたへ」送る想いに引かれ、クラスで団結している姿に圧倒されました。そして迎えた本番では、迫力のある歌声と美しいハーモニーに心動かされました。

委員会活動では、いつも各委員会の中心となり、私達を導いてくださいました。中央委員会や専門委員会でも、リーダーシップをとるその姿はとても輝いて見えました。その大変さに気付いたのは、仕事を引き継いだ後のことでした。

3年生の皆さん。私達はずっとたくさんの先輩方の姿を見て、学校生活を送ってきました。そんな私達の憧れで、お手本で、そして支えであった先輩方にも 明日からはもう頼ることはできません。私達2年生も1年生も、前へ進んでいきます。今日まで教えてくださったことを忘れずに、私達の「ふるさと」、この千草台中学校を引っ張り、伝統を引き継いでいきます。先輩方の努力の「証」となれるよう頑張ります。

これから先輩方は、一人一人自分の信じた道へ進んでいかれるのですね。新たな生活に不安を抱かれることもあるか

もしませんが、かけがえのない仲間達と過ごした日々や、私達後輩の存在や期待を思い出してください。先輩方ならきっと「空も飛べるはず」、新たな道を力強く切り開いていけると信じています。そして、応援しています。

卒業生の皆様のご健康と ご活躍をお祈りしております。ありがとうございました。

令和8年3月10日 在校生代表

## 答 辞

冬を惜しむように寒さが残る今日ですが、少しずつ春の香りが運ばれる季節となりました。

3年前の4月、私達は小学校6年間をともに過ごしたみんなと、この千草台中学校に入学しました。初めてのことばかりで不安も大きかったことを覚えています。そんな状況の中でも楽しく学校生活を送ることができたのは、みんなの存在があったからだと思います。新たな生活にも慣れてきたころ。校外学習で鎌倉に行きました。班別活動中に撮った写真で競い合ったことが印象に残っています。私はこの行事で、協力することの大切さを学びました。

2年生になると、中学校生活の楽しさを知るとともに、今までできていた、あたりまえのことができなくなる場面が増えていきました。ルールを守ること、先生方や前に立っている人の話を真剣に聞くこと、時間を守ること。自分の行動を優先しすぎてしまい、周りのことを考える余裕がなくなっていたように感じます。自然教室では、あたりまえをあたりまえにすることを心がけ、過ごしました。この行事をきっかけに、日常生活の中でも5分前入室2分前着席や、先を見て行動するなど、少しずつあたりまえのことへの意識が変わっていきました。

学校の中心として活動するようになった3年生。全ての行事を私達生徒が主体となって行うようになりました。最後の体育祭。成功させようとクラス全員で話し合い、たくさん練習しました。大縄やスウェーデンリレーでは、個々の作戦や全体としての策略など、「勝利」という一つの目標に向かって試行錯誤しました。

最後の学年行事である修学旅行。実行委員を中心に当日に向けてたくさんの準備をしました。日程や、自分の仕事についてよく確認し、自分で考えて行動することを心がけました。上手いかないことや注意されてしまうこともありました。一人ひとりが自分の役割に責任をもって行動するなど、3日間で大きく成長できた部分もありました。

合唱コンクールでは、それぞれのクラスで心を一にし、練習に取り組みました。当日は、どのクラスも全力で歌いることができました。終わったあとには、嬉し涙や悔し涙を流している人もいました。

そして迎えた受験。今まで、同じように生活し、同じように勉強してきた教室で、それぞれの目標に向かって自分の道を歩み始めました。志望校合格に向けて勉強に取り組む中で、心が折れそうになるときもありましたが、そのたびに「みんなが頑張っているから頑張ろう」と再び前を向くことができました。

在校生のみなさん。私達は頼りない部分も多く、尊敬できる先輩ではなかったかもしれませんが、行事などでみなさんに助けられたことがたくさんありました。4月からはみなさんがこの学校を引っ張っていくことになります。なかなか上手いかなかつたり、大変なことも多くあるとは思いますが、きっとみなさんなら大丈夫です。今まで、(こんな)私達を先輩として慕ってくれてありがとう。

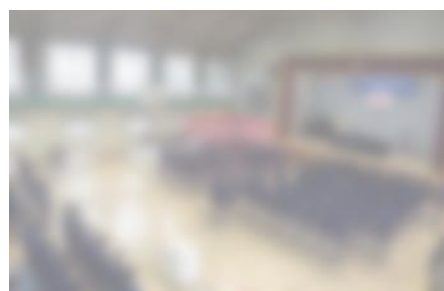
そして、どんなときも私達のことを考え、指導して下さった先生方。言葉の意図が読み取れず、反抗してしまうこともありましたが、どんな態度の私達にも最後まで成長を信じ、向き合い続けてくれたことは、忘れません。本当に、ありがとうございました。

一番近くで私達を支え続けてくれたお父さん、お母さん。素直になれず、強く当たってしまうこともあったけれど、いつも私達の味方でいてくれていたこと、応援してくれていたこと、心強かったです。そんなお父さん、お母さんがいてくれたから多くのことに挑戦することができました。なかなか言葉にすることはできなかったけれど、とても感謝しています。ありがとう。まだまだ未熟な私達ですが、これからもよろしくお願ひします。

3年生のみんな。今まで、たくさんのことを一緒に経験してきたね。楽しいこと、辛いこと、いろんなことがあったけれど、それらを乗り越えられたのは、みんなで助け合い、支え合ってきたからだだと思います。これから先は一人ひとりが別々の道を歩いていくことになります。不安や心配もあるけれど、お互い頑張ろうね。そして、いつの日かまた、今よりももっと成長した姿で会いましょう。

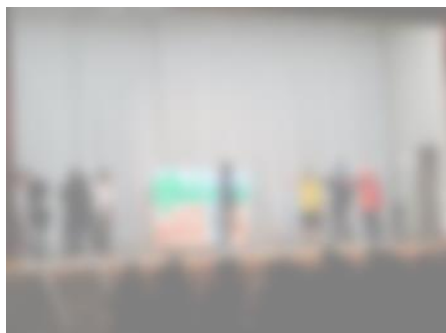
本日、私たち91名はそれぞれの未来に向かって旅立ちます。千草台中学校への心からの感謝を捧げるとともに、更なる発展を心より祈念し、答辞といたします。

令和8年3月10日 卒業生代表



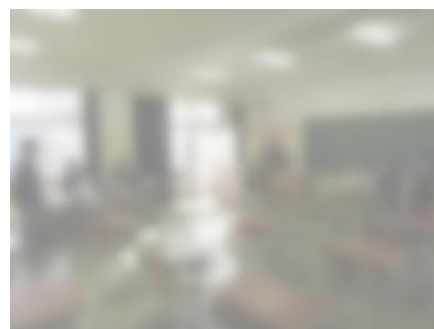
## 【 三年生を送る会 】

3/2 (月) に三年生を送る会を実施しました。吹奏楽部の生演奏による入退場、生徒会の運営による開閉会式が行われました。1年生は、事前に作成した招待状を3年生一人一人に渡し、発表では、昔話「桃太郎」「浦島太郎」になぞらえ、3年学級担任の幼少期から中学校卒業までの成長を寸劇やダンスを交えながら披露しました。途中、3年生が友情出演した場面では大歓声が起こりました。2年生の発表は、タイムスリップをテーマに、昔流行したCMや懐かしい音楽に合わせて、歌やダンスを披露しました。また、3年生の先生方に関するクイズや生徒・職員でつながった「恋ダンス」動画などで会場を楽しませました。1・2年生とも、発表の最後には感謝の気持ちを合唱にのせて3年生に届けました。どの学年も工夫を凝らし、3年生にとって中学校生活最後の良い思い出となりました。



## 【 ちぐさ寺子屋 閉校式 】

3/5 (木) 今年度最後のちぐさ寺子屋を実施しました。3年生は学年内日課のため、1・2年生のみの受講となりました。今年度も、地域ボランティアや千葉経済大学附属高等学校の方々にご来校いただき、多くの生徒が参加し盛況のうちに終えることができました。ちぐさ寺子屋は、学力向上はもとより、受験を経験した高校生や教員以外の方からの経験談が聞ける貴重な時間となっています。次年度も引き続きご協力をお願いいたします。



## 【 草取りチャレンジ 】

3/16 (月) 5校時に1・2年生全員でグラウンドをきれいにするため、草取り作業(草取りチャレンジ)を行いました。当日は、環境委員による運営のもと、学級ごとに分担場所を決めて、競い合いながら協力して作業を行いました。総重量143.0kgと、昨年度を大きく上回る雑草等を除去することができました。



### 【4月の予定】 \*予定は変更になる場合がございます。

- 8(水) 着任式・始業式
- 9(木) 入学式
- 10(金)~16(木) 学年内日課
- 10(金) 新入生歓迎会、給食なし
- 13(月) 給食開始
- 14(火) 市教研
- 15(水) 発育測定、避難訓練
- 16(木) 職員会議
- 22(水)・23(木) 3年全国学力学習状況調査
- 23(木) 歯科健診(2年、1年1クラス)
- 25(土) 授業参観、学級懇談会、学年保護者会  
部活動保護者会
- 27(月) 振替休業
- 28(火) 内科健診(3年)

### 【5月の予定】

- 7(木) 教科等主任研修会
- 14(木) 職員会議
- 16(土) 体育祭 ※
- 18(月) 振替休業
- 19(火) 市教研
- 21(木) ちぐさ寺子屋(開校式)
- 26(火) 内科健診(1年・5組)
- 28(木)~30(土) 3年修学旅行(京都・奈良)
- 6/1(月) 3年振替休業

※ 5/16(土)が雨天中止の場合、17(日)に実施予定です。  
5/17(日)も雨天中止の場合、20(水)に実施予定です。  
それに伴い、5/16(土)・17(日)・20(水)がお弁当の日となります。